

特別委員会報告

決算特別委員会

平成26年度決算における意見

認定第1号平成26年度勝山市歳入歳出決算の認定について、及び認定第2号平成26年度勝山市水道事業会計利益の処分及び決算の認定についての審査経過において出された主な意見は次のとおりです。

◎歳入歳出決算について

1 一般会計歳入について

(1) 一部法人の大口滞納問題については、その発生から相当の年数が経過している。この間公売等を含めいろいろと努力されてきたことは確認したが、依然として収入未済額の大部分を占めている状況は変わっていない。今後ともいろいろな対策について研究され、収入未済額の縮減に努められたい。また、根本的な対策についても検討されたい。

2 一般会計歳出について

(1) 電算処理システム、保守点検委託業務の契約事務を担当部署で極力一括してできないか検討されたい。

(2) 予算流用を極力抑えていくためにも、予算案作成時に十分調査をして積み上げをしていくように努められたい。

(3) かつやま大使、観光特任大使にさらに効果的にご協力いただけるような方策について検討されたい。

(4) 官学連携推進事業については、教育関係機関と連携して実施できる事業を検討し、積極的に取り組まれない。

(5) ふるさと納税については、これまで東京勝山会や関西勝山会を中心に、ご協力を依頼し、成果が上がっているようであるが、全国的に自治体間の競争が激化している現状から、勝山市に所縁のない方々へも勝山市の特長をPRし、納税額が増額するよう努められたい。

(6) 友好都市等交流事業の青少年交流については、その目的が十分達成されるように訪問先、効果等を十分検証して取り組むよう努められたい。

(7) 保育所職員処遇改善事業費については、一定の効果が確認されたが、さらに保育所職員の処遇改善に努められたい。

(8) 民生委員児童委員の処遇について、法的な問題も確認したが、さらに待遇改善、負担軽減等について検討されたい。

(9) かつやま逸品開発・販路開拓事業の成果を営業ベースに乗せるために、市として積極的なフォローアップに努められたい。

(10) 鳥獣害対策について、捕獲おりや防護柵など被害軽減策を検証するとともに、庁内で連携して、効果的な対策を推進されたい。

(11) ふるさと創造プロジェクト事業の3カ年事業が終了したので、その成果を生かせるように、平泉寺を訪れる観光客の動向を具体的なデータで分析しながら、今後の誘客推進に努められたい。

(12) 他課からの委託事業であっても市民からの要望を十分把握し、目的にあった整備を実施するよう努められたい。

(13) 技術職員の技術力を高め、設計変更による予算の流用や増額を抑えるためにも、職員自らが工事の設計監理業務を実施していくことを検討されたい。

(14) 勝山恐竜クロカンマラソン事業については、今後もさらに参加者の視点に立った運営とおもてなしサービスに努められたい。

3 特別会計について

(1) 下水道事業の全体計画について、今後市内の世帯数が減少することに伴う収入減少と利用者の負担増の影響について検証し、特別会計の健全運営に努められたい。

◎水道事業会計決算について

簡易水道事業特別会計が勝山市水道事業会計に組み入れられていくにつれ、水道事業の企業債残高が増大していくが、利用料の増額は極めて少額しか見込めないことから、長期的な運営計画を立て、健全運営に努められたい。

今後の予算編成や執行においては、審査の過程において、その都度、指摘した事項も含め、誠意を持って改善に努められるとともに、健全な財政運営を堅持しつつ、市民福祉の向上と活力あるまちづくりに向けて邁進されることを望むものであります。

なお、これら指摘事項について、どのように対処されるかを求めました。